

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-151188(P2020-151188A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2019-52329(P2019-52329)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 3 2 Z
A 6 3 F	7/02	3 2 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月19日(2021.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かの抽選に関する設定値を設定可能な設定手段と、を備え、

前記遊技の進行が可能な遊技可能状態、又は前記設定値に関連して前記遊技の進行が不可となる遊技不可状態になり得るとともに、所定条件の成立に基づいて、エラーが発生する遊技機であって、

前記遊技不可状態においては、発生し得るエラーのうち、特定のエラーの発生を検出可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 本発明は、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かの抽選に関する設定値を設定可能な設定手段と、を備え、前記遊技の進行が可能な遊技可能状態、又は前記設定値に関連して前記遊技の進行が不可となる遊技不可状態になり得るとともに、所定条件の成立に基づいて、エラーが発生する遊技機であって、前記遊技不可状態においては、発生し得るエラーのうち、特定のエラーの発生を検出可能であることを特徴とする。

ここで、所定条件としては、たとえば、遊技球が払い出されるための条件が成立したにもかかわらず遊技球が払い出されないこと、払い出された遊技球を貯留可能な受皿に所定個数以上の遊技球が貯留されたこと、遊技球の払い出しに係る機器に故障が発生したこと、払い出し予定以上の遊技球の払い出しが行われたこと、電波が照射されたこと等が挙げられる。